



# 鶏 鳴

2009年12月13日(第31号)

## イエスの言葉

『目を覚ましていなさい。いつの日、自分の主が帰って来られるのか、あなたがたには分からないからである』

聖書(マタイ福音書24章42節)

牧師 河合裕志

クリスマスが近づき、あちらこちらにクリスマスツリーの電飾が明りを放ってる。不景気風の吹く中でこの明りはしばし心を和ませてくれる。日本のクリスマスは大体がキリスト抜きで雰囲気、ケーキ、プレゼントを楽しむものだけど寛容なイエスは許してくれているだろう。

ただこの折この言葉を聞いて悪くないかも。イエスは「目を覚ましていなさい」と言った。私達は夜眠り朝目を覚ます。これ自然のリズム。目を覚ませと言われなくても目を覚ます。ただここでの目を覚ましていなさいは生理的な意味ではないよう。心の目のことのように。そんな目あるの。

それはある、誰にもある。ただ人によってはその目が眠ったまま、という人があるかも。眠ったままの心の目って何？

それはイエスがもう一度来ることをゼンゼンわかっていない、認めない、気づいていない目のこと。そんなことには目もくれないでグッスリとお休みの目。

一寸待て。イエスがもう一度来るって？ それどういうこと。彼は一度来たでしょ。二千年前、馬小屋で生まれたって話じゃない？ 最後十字架にかかって死んだ。そ

の後復活したというけど信じられ〜ない。

そうでしょ、そうでしょ、信じられないでしょう。ここが信じられなければイエスの再来なんて一層信じられない。信じられないままに言っちゃうけど「人の子は思いがけない時に来る」ってすぐあとの方でイエスははっきりと言ってる。人の子ってイエスのこと。私は今一度思いがけない時に来るから心の目を覚ましていてねという訳。

イエス二度目の到来のねらいは世界完成のため、地上王国になり愛と平和に100%満ちた世界とするため。

その日を心の目を覚ましつつ身を慎み、なすべきことをコツコツとなしながら待つことをイエスは期待。

そんな日は果たして来るものかどうやらかわりやしねえ、と思って仲間を殴ったり、酒でグデングデンに酔っぱらったりすることのないように、そんな恥をさらさないようにとイエスは希望。

クリスマスは二千年前生まれたイエスを覚え祝う日だけどそれだけではなくてもう一ぺん来ることになっているイエスを覚える日、実は。セカンド・カムイング。いつ来てもいいように目を、心の目を覚ましていたいもの。

### 集会案内

主日礼拝 : 毎日曜日午前10時15分  
 子どもの教会 : 毎日曜日午前9時  
 中高校生会 : 毎日曜日礼拝後  
 婦人会・壮年会 : 第2日曜日礼拝後  
 聖書を学ぶ集い : 第4水曜日午前10時  
 オリーブの会(読書会) : 第3月曜日午前10時